

十日森稲荷神社で野外撮影!



十日森稲荷神社で練習中!

五本木住区センター児童館の近くにある十日森稲荷神社での撮影。お稲荷さんや神社の大きな古木、木にとまっていたセミの抜け殻など、さまざまな写真を撮りました。

外で撮影するときの基本姿勢は、①左手をL字型にします。②L字の上にカメラを置き右手をそえます。③脇をしめてひじを軽く曲げます。④手ぶれ補修機能をONにしておきましょう。

これらをマスターすれば、あなたもプロカメラマン!?



現在の本殿は明治17年に建築、拜殿は昭和32年に建てられたそうです。

十日森稲荷神社での記念撮影!



撮った写真をその場でチェック。たくさんほめていただきました。

めぐろ編集員のみなさんがカメラを持ってそくそくとやってきました。みんな私のまわり集まってパシパシシャッターをきってくれました。嬉しい限りです。



パンとお弁当を撮ったよ!!



かみよん工房のパン(8ページ参照)や、NPO法人フード・コミュニティデイ目黒のお弁当を撮影!

この編集員もきれいに撮るために工夫していました。全体を撮ったり、一部分を撮ったり、角度や方向を変えてたり、さまざまな撮り方を実践しました。

パンは種類が豊富で、それぞれにあった「コツ」も教えていただきました。わざと後ろに背景となるパンを置いたり、光の差し込み加減を調整したりするときに撮れます。



中村くんが撮ってくれたお弁当。色鮮やかで、とてもおいしそうです。フード・コミュニティ目黒さんの手作りのお弁当は、栄養バランスも整っていて、とてもおいしかったです。皆さんも、ぜひ1度、お試しください!!



真っ白なごはん。そして、かわいい梅干し♡

写真をたくさん撮った後は、みんなでおしゃべりをしながらいただきました。みんな写真を撮ることが大好きになったようで、食べている中でも写真を撮ったりしていました。お弁当、パンなど、どれもとっても美味しかったです。(高橋奏)

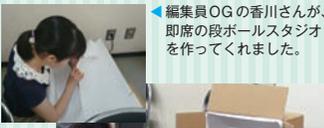


後で、美味しくいただきました!

8月8日、五本木住区センター児童館で土井先生による「デジカメ講座」が行われました。



土井先生から、カメラの構え方や構図など、今まで知らなかったデジカメ撮影のことについて色々教えてもらいました。



編集員OGの香川さんが、即席の段ボールスタジオを作ってくれました。



小物撮影の強い味方 即席段ボールスタジオ



土井 松志 先生のプロフィール

Webディレクター/カメラマン。東京生まれ。2006年デジタルハリウッド総合proコースwebデザイナー専攻卒業。自治体の子育てサイトなどを中心に活躍。M's Create 主催。「数年前に一緒に取材に行ったキッズレポーター(目黒区のHP子育てサイトの小学生記者)と「めぐろ」で再会できたことが、とても嬉しかった!

ひさく傑作! 私の1枚



お弁当の全体が写るように撮影角度を工夫しました。1枚の写真の中にすべての食品を入れるのも大変でした。(中村)



デジカメ講座で、さまざまな写真の撮り方を学び、いかに美味しく写すことができるか考えて撮ることができました!! (高橋奏)



お赤飯を中心に全体が写るように撮りました。いつもと違う角度でモノを撮ることができました。(滝沢)



お稲荷さんを主役にして、神社の雰囲気を引き出すように撮れたところが良かったです。(兼平)



葉をバックにして、セミを中心に撮ったのが良かったです。(斉藤麗)

総評: みんな素敵な写真が撮影できたと思います。こうしたらいつもと違う写真になるとか、かっこいい写真が撮れるなど、角度や、高さも工夫してみてください。(土井)

考える教室 プレゼンテーション&講習会



森本先生のお話を集中して聞き、ブレインストーミングを使って、今後の「めぐろ」でやってみたいこと、取材してみたいことなどを考えました。みんな話合っていて、たくさんの意見が出ました!!

相手の意見を否定しない アイデアは自由に

ブレインストーミング 4つのルール

「量」を意識しよう 連想と結合

アイデアをたくさん出した後は、そのアイデアを似ている物同士でつづけて整理していきまいた。そのアイデアのメリット、デメリットを考え、さらにそのメリットをより生かす方法はないか、デメリットはどうしたら改善できるのか、考えていきました。

アイデアを実現するために必要な「5WIH」を考えたり、二人以上の人数で交渉するとき、みんなが平等になるためにはどうしたら良いかなど、たくさんの方の考え方を学びました。

8/10 16名の編集員が出席!

ブレインストーミングって何?

簡単に言うと、1つのテーマを決めて、みんなでどんどんアイデアを出し合っていくというものです。私たちが実際にやっている時も、みんなそれぞれ意見を持共有し、たくさんのアイデアを集めることができました。



おもしろいアイデアもたくさん出て、楽しそうに話し合う編集員。これも自分一人で考えるのではなく、みんなのさまざまな意見があるからこそのもですね♡



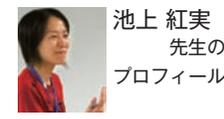
森本 恭平 先生のプロフィール

社会起業家/大学院生。北海道生まれ。2012年に慶應義塾大学福祉論吉文明塾を修了。北海道夕張市を舞台に地域活性化事業に専念している。「2012年より、めぐろに携わせていただいています。好奇心旺盛なみんなの温かさや誠実さに、地域の可能性を感じています!」

文(考える教室): 高橋奏葉



中学生の編集員が参加。



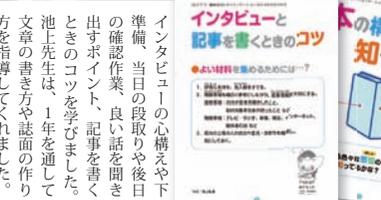
池上 紅実 先生のプロフィール

編集者/ライター。和歌山市生まれ。1997年京都大学卒業。雑誌、書籍ほかさまざまなメディアで、科学・教養・教育など多様な分野の企画・編集・執筆を、堅めの報告書から広報・宣伝まで幅広く手掛ける。「打てば響く編集員の皆さんに感謝しました! 中高生らしい新鮮な感覚に元気をもらいながら、1年間ワイワイと雑誌作りができて楽しかったです!」



名刺交換を初体験!

僕は初めての参加だったのでとても緊張したのですが、名刺交換は何とかできました。他にもインタビューや記事を書くコツを詳しく教わりました。(齋藤龍)



インタビューの心構えや下準備、当日の段取りや後日の確認作業、良い話を書く出すポイント、記事を書くときのコツを学びました。池上先生は、1年を通して文章の書き方や誌面の作り方を指導してくれました。

第2回オリエンテーション&講習会 雑誌作りガイダンス 本の構造って知ってる? インタビューと記事を書くときのコツ

6/29